

 **みなみおおすみ**

みんなの議会

第**53**号

平成30年
8月号



P2

予算

注目すべき事業は！

P4

議案

6月会議の議案審議

P6

一般
質問

8名の議員が町政を問う！

P15

委員会

調査レポート

6月会議の

①庁舎整備事業(南側外構整備)

本庁舎建設に伴う敷地整備の為、図書館・税務課裏の外構整備を実施します。

2,899万円



②子ども医療費助成事業

町民税非課税世帯の未就学児を対象に、医療機関等での窓口支払いを10月より免除します。

131万円

③農業用廃プラスチック適正処理負担金

回収業者による料金の値上げが避けられない為、値上げ分の半額を負担します。

105万円

注目すべき事業!!



④ 漁業災害復旧支援事業

災害等で破損した漁具等の
修理・更新を事業費の1/3
以内で補助します。

500 万円



⑤ 道路等景観創生事業

西方トンネル付近の花壇の整備
を実施します。

820 万円



⑥ 南大隅高校女子寮設計 委託事業

現生徒寮の駐車場部分に女子寮の
建設を予定しており、その設計を
委託します。

370 万円

地域振興施設（自治会公民館等）整備事業補助金 空き家等解体撤去事業を増額補正！

一般会計1億77万円を追加し

総額67億4千万円に！！

6月会議は、14日から22日までの9日間、開催されました。初日の14日には一般質問が行われ、8名の議員が町政全般に関し、現状や方針を問い質しました。

また、2日目からは、条例改正や平成29年度予算等の専決処分された9件の報告並びに、2件の同意と補正予算等11件の議案を審議のうえ可決しました。

一般会計補正予算では、当初予算で決定した、自治会機能を維持する為に必要な施設整備に対して助成する「地域振興施設整備事業」に500万円、また、「空き家等解体撤去事業」に600万円を追加しました。

わずか2か月余りで不足の状況となった、これらの事業のニーズの多さには驚かされました。

また、教育委員会委員として、長年ご尽力頂きました、永田 穰氏の後任として、坂口 和敏氏を任命する件は、全会一致で同意しました。



私の判断

(○…賛成、×…反対)

※議長は裁決には加わりません。

| | | 浪瀬 敦郎 | 松元 勇治 | 津崎 淳子 | 後藤 道子 | 水谷 俊一 | 日高 孝壽 | 大坪満寿子 | 持留 秋男 | 大久保孝司 | 木佐貫徳和 | 川原 拓郎 | 大村 明雄 |
|--------|-------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 予 算 | 平成30年度 一般会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | 平成30年度 一般会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | 平成30年度 特別会計補正予算（全5件） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 条 例 | 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | 子供医療費助成条例の一部を改正する条例の制定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 契 約 | 請負契約の締結の一部変更（2件） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 同 意 | 固定資産評価員の選任 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | 教育委員会委員の選任 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |

子供たちのために！

【教育委員と語る会を開催】

4月17日、議会全員協議会室に、山崎教育長並びに4名の教育委員の方々をお招きし、教育産業常任委員会（6名）との意見交換会が、実施されました。現在、実施に向けて、準備が進められている小中一貫教育をはじめ、ICT教育への取組・幼稚園の在り方を含めた幼児教育・南大隅高校の存続問題・ねっぴー・みさきちゃん奨学金の在り方・生涯学習など、多くの問題について、活発な意見交換が行われました。



《正面左》山崎 洋一 教育長
《左側より》永田 穰 委員・畠中 泉 委員
小濱 和美 委員・立切 勝幸 委員

宮崎県川南町議会運営委員会の視察を受け入れました

【議会の運営と

活性化のために】

5月30日、宮崎県川南町の議会運営委員会（6名）と川上議長が本町、議会運営委員会を視察研修の為、訪問されました。当日は、「議会報告会の在り方」や「議会運営全般」について、活発な意見の交換が行われ、本町議会運営委員会にとっても有意義な意見交換となりました。



いちき串木野市 観光案内所を 視察研修

7月19日、議会運営委員会では、鹿児島市での研修会の後、いちき串木野観光案内所を視察に行きました。串木野ICを降りると、間もなく見えてくる観光案内所。観光物産センターを併設し、多くの人で賑わっていました。観光協会ではなくNPO法人が運営している為、調理室を備えた研修室を持ち、様々な事業を実施しています。事業内容は、旅行業、特産品普及事業、研修室利用事業等であります。





| 掲載順 | 質問事項 | 質問議員 |
|-----|--|--------|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・辺塚だいだいの振興について ・春バレイショのそうか病対策について | 大坪 満寿子 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・農家支援対策について ・交通安全対策について | 持留 秋男 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・肝属医師会立病院の現状と今後について ・水産業の振興策について | 松元 勇治 |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の働き方について | 水谷 俊一 |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・一次産業の振興について | 後藤 道子 |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・口蹄疫について ・コミュニティバス、その他の交通手段等について | 津崎 淳子 |
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・財政運営について ・観光事業について | 大久保 孝司 |
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援について ・観光浮上と町民所得向上について | 浪瀬 敦郎 |

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるもので、議員固有の権能として与えられたものです。

一人あたりの持ち時間は、答弁を含め60分です。掲載されている内容は、質問者自身が要約し広報委員が校正したものです。

大坪 満寿子 議員

農林水産省が*G-I保護登録 した辺塚だいだいの振興を！

*G-I保護とは、地域に根付く伝統的な農林水産物・食品のブランドを
知的財産として守る制度です。



町長
町として今回のG-I保護登録を
新たな足掛かりとし、
辺塚だいだいの振興を進めたい。

答

議員
辺塚だいだいは青採りす
るので木が疲れず毎年多く
の収穫量があり、病害虫にも強く
猿も食べないので鳥獣被害も少な
いというメリットがあります。

G-I保護認定されたことで辺塚
だいだいの知名度、認知度は上が
り町の活性化につながると思われ
ます。

観光客にこの町の、この町にし
かないオリジナル特産品、土産品
として辺塚だいだいを使った商品
開発を推進していく考えはないか
伺います。

町長
鹿児島きもつき農協と連
携を図り本町独自の商品開

発の提案を検討していきたいと考
えております。

議員
辺塚だいだいのオーナー
制度も面白いと思いますが、
いかがでしょうか。

経済課
良い提案だと考えており
ます。果樹部会等と検討し
ながら、その政策については進め
ていきたいと思えます。

議員
せっかくG-I保護登録さ
れた辺塚だいだい。将来的
に生産者の所得増。そして、商品
化に繋げて南大隅町のブランドと
して辺塚だいだいを蘇らせていた

だきたい。私は町の辺塚だいだい
振興策に期待します。



春馬鈴薯の そうか病に対する 助成について

町長
発生要因はほぼ把握さ
れているので、そうか病の
発生しにくい環境づくりを呼び掛
け推進していきたい。

議員
共済加入は耕作面積が少
ないと加入できず掛金も高
く助成があっても入れないと言わ
れます。JAへの手数料が豊作不
作に関係なく同一と聞か、その
年の馬鈴薯価格で手数料を変動で
きるよう町から要望できないか伺
います。

町長
過去にも申し入れたこと
があるので、出来ればその
ような配慮はできないか、また要
望したいと思えます。

議員
是非、要望していただき
たい。大事な我が町の基幹
作物、春馬鈴薯です。

値崩れしないのが一番ですが、
値崩れが起きても全量、健全な馬
鈴薯として出荷できるよう、役場
のみならず、町技術連絡協議会と
も充分検討していただき、農家の
方が、「来年も気張ってみろかい。」
と思われるよう、引き続きそうか
病の予防対策、助成を要望します。



議員のひとり言

南大隅町は農畜産物の宝庫じゃ!! 大事にせんといかん!!

春バレイシヨ 農家支援対策について



町長 野菜価格安定対策事業の発動が想定される状況であり、その補填金交付の状況を踏まえ、今後の支援策を検討してまいりたい。

議員 バレイシヨの価格低迷、病気等により31年産の種子の申込みと面積が、前年からすると、種子が1500袋、面積が約15町歩の減というところで、農家が気張って植ゆいよな状況をば、今年度の補正予算で組んでもらえれば、農家もまた元気が出るんだがなというふうに思うところです。

町長 色んな施策は打ちますが、最終的には、やはり、皆さんのモチベーションではなかるうかなというふうに思います。

議員 一番ネックなのが病気でもしょうけれども、農家がダメージを受けているのは価格なんですよ。去年の価格でキロ220円、10キロで2,200円だったんですよ。今年の販売価格が平均で120円、10キロで1、

200円ですけれども、これから農協の選果料、輸送費、諸経費を引いて、おそらく今年の場合で600円ぐらいかなと10キロですね。去年が10キロで2,200円でしたので、輸送経費、選果料というのは、価格が安かろうと高かろうと経費は変わらないわけです。今年のバレイシヨの価格は、去年の半分だったということで、農家もですね、元気がないような状況でございます。出来れば本年度じゃがいもを植える前までにでも、農家に元気が出るような施策の検討を。

茶農家支援対策 について

町長 本町の茶業は、7割近くを農業生産法人が占めており、公設

の佐多茶工場には5戸の農家が荒茶製造を委託しています。今後、法人を含めた中で継続性のある茶業振興を推進したいと考えております。

議員 法人を除けば、5人なんです。面積が大まか3町歩程度、1、2名が辞めるんじゃないかというように聞こえる聞いてるわけです。一番茶、刈番も含めて昨年度が1,846

県道、国道などの県管理道路の 安全対策について

町長 白線が消えており濃霧が発生した時など通行に支障があるとの情報や歩道のガードパイプの破損により危険な状態である現状は把握している。

議員 観光客の多い地域で、バイクやカーブの多い道路でありますので、早期施工の要請をして頂きたいと思えます。それと、伊座敷から浮津線間のダテツガラ（だんちく）の株にですね、除草剤を掛けて枯らした方がいいのではないかと思うのですが。

町長 除草剤の使用の事と思うのですが、今、県の方が実証実験的にやっていると伺っています。

円、今年が1,577円、キロ300円価格安で、茶農家として管理等や運営が出来ない状況であります。

町長 県下的に茶業の方々が非常に大変な状況と認識しております。一応いろんなことの施策は類似してやっていますが、何かやれる手立てがないかというのは、皆さんの方からも提案がありましたらいただきたいと思います。



要望があるからする。ないからしない。どうなの？

議員のひとり言



人口増に繋がる施策は、
地域医療の問題と、
水産業について質問します

町長 人口減少に歯止めがかけられるよう
支援してまいります

肝属郡医師会立
病院の現状と
今後について

議員 建物の老朽化による病院の
移設建て替え問題など、どの
ように考えられるか。

町長 将来求められる機能を踏ま
えた病院のあるべき姿を検討
し、伴った施設整備が必要で今後、
錦江町や医師会と協議し進めてまい
ります。南大隅町としては最終的な
判断として、断固たる決意で、この
病院は存続させるよう私は考えてい
ます。医師会の事務方は完成予定の
期日の中で、一応平成34年を中途に
完成をしたいと考えているようです。

漁業者減少と高齢化に
よる漁業後継者が不足
している中、将来にわ
たつて就業支援はどの
ように考えているか

町長 本年度は新規漁業就業者
があり、第1次産業成長化
支援事業を活用し新規漁業就業者
が導入する機械器具等の購入助成
を実施します。若い就労者を確保
するための様々な制度を策、活
用し技術や情報の継承が行えるよ
う広く人材を募集し、支援してい
く考えてございます。

議員 観光と、タイアップする
ことで新しい事業展開は考

えられないか。

町長 今年度鹿児島県が実施す
るブルーツーリズム推進事
業により漁船を遊漁船登録してい
ただき、トビウオ漁の体験や修学
旅行等の漁業体験を検討しており
ます。観光型体験漁業等は、ブル
ーツーリズムを

ビジネスチャン
スと捉え漁業の
廃業や住民の流
出に歯止めがか
けられるよう支
援してまいりま
す。



議員 水産振興に従事する地域
おこし協力隊の募集は考え
られないか。

町長 産業型の地域おこし協力
隊を募集し、漁業者の補助
的な地域の中で活躍できる人材の
育成漁業者となるための技術の継
承、漁業に関する情報の発信等、
多方面からの活動ができる協力隊
の募集を検討してまいります。

議員 地域の活性のためにも、
本町が行う、観光プロモー
ション活動の中で着地型観光と地

魚の販売、物流という形で、地域
おこし協力隊の募集を行えたらと
思います。

町長 農業の方は、地域おこし
協力隊で1名佐多地区に来
られています。漁業関係であれば、
やはりその近くの方がいいと思い
ますので、その地域の中に入れる
ような仕組みを作りたいと思いま
す。町としても、シェアハウス、
お試し住宅を準備してありますが、
根占地区に1棟ありますが、佐多
地区にも1棟作り、そこから佐多
の良さを見ていただき空き家に入
っていただくような手順を考えて
います。

議員 本町は、合併後、それま
でになかった社会保障を、
手厚く行ってきましたが、人口増
に繋がる施策はすぐには結果は出
にくいですが、次々と手段を打っ
ていかなければなりません。医療
福祉にしても高齢者に安心安全な
環境をつくるには、集約されたコ
ンパクトシティが良いといわれて
います。港を守る、山を守るそこ
で生活し集落に居続けられる状況
を維持する仕組みづくりを考えて
いかなければなりません。

わが町は、本土最南端、人口減少、高齢化率最先端、どう活性化できるか考えます。

議員のひとり言

職員の時間外手当は適正に支払われているか？



町長
条例に基づき時間外手当として支給する部分と、各課の業務内容判断に基づき、振替・代休扱いとして運用しています。

議員
時間外手当の支払いと振替代休の割合を伺います。

総務課長
平成29年度、時間外勤務命令により行われた時間外勤務は9、231時間で時間外手当を支給したものは2、735時間、率にして29・6%です。また、振替代休は6、496時間で、率にして70・4%となっています。

議員
振替代休の取得率はどれくらいか、伺います。

総務課長
振替代休6、496時間のうち、3、851時間、59・2%が取得されており

議員
利用されていない時間が多いと思います。条例では、「当該時間外勤務手当の一部の支給に代わる措置として、振替代休とする。」とされています。この一部をどの様に解釈するかですが、さすがに70%は多すぎます。また、振替休日として取得されたものが59%、残りは未執行という事。そもそも、時間外勤務の多い職員に、振替代休を取る時間などあるのでしょうか。これらは、本来、時間外勤務手当として支払われるべきものです。勤務命令により行った時間外勤務、それに対する手当が未払いのままという事は全く理解しがたい。考え直すべきだと思います。

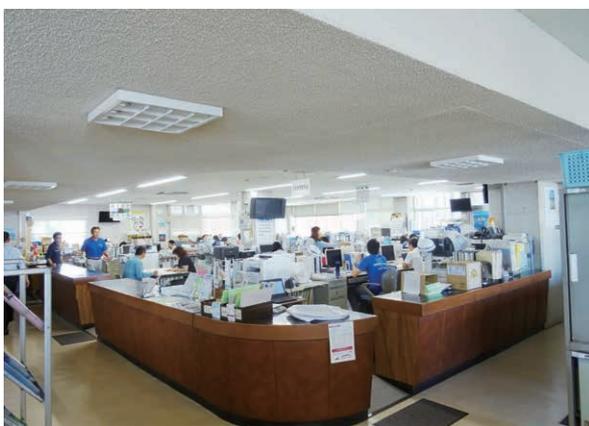
議員
昨年12月をもって建設課の一人の職員が退職しました。共に仕事をする事も多く、彼のひととなり、また、仕事に対する真摯な気持ちや、責任感には理解しているつもりでした。

「なぜ？」と思う気持ちもありましたが、彼の現在の仕事の量、今後、彼が中心になるであろう仕事等を考えると、納得できます。この職員の平成29年度、退職するまでの時間外勤務の状況を伺います。

総務課長
105・5時間の時間外勤務命令が出ています。その内89・5時間が時間外手当として処理され、振替代休16時間分は取得されておりません。

議員
時間外勤務命令なしの時間外勤務もあつたと認識していますか。

総務課長
調べてみますと、そういった時間等も確認できるところであります。



議員
組織にとつて、1人の職員を失う事は大きな痛手です。我々は、今回の事を教訓として、組織の改善に活かしていかなければなりません。労働時間を規制する目的は3つあります。

- ・労働者の健康保持。
- ・家族的、社会的、文化的生活の保障。
- ・雇用の創出。

これらは、人が人間らしく生きる為の根幹に関わる問題です。行政はマンパワーです。マンパワー無くして、町は成り立ちません。また、頑張っている人に、もっと頑張れという事ほど、酷なこともありません。早急に職場の環境を見直し改善される事を望みます。

議員のひとり言 過疎高齢化で悩むこの町を、守り・支えていけるのは、人である。(人財)

後藤 道子 議員



町内の花密の商品ブランド化や
商標登録に対する行政支援は
考えられないか伺う

有害鳥獣の影響の無い
密^{しきみ}やヒサカキの生産を新たな事業と
して拡大する考えはないか

町長

平成三十年度予算に
特用林産物支援の予算措置を行い
継続的な支援を行う考え

議員

先進地の視察や研修を合わせ
て職員が技術指導等を行う
考えはないか伺います。

経済課

今年度、植栽の予算を計上
させていただき、それに伴い
今月先進地の大阪の市場へ関係の方
と参り、今月末には市場の方も来ら
れる予定で相互関係を作りたいと考
えています。

議員

現在少人数でやっているが、
今後どのようにして組合員を
増やしていくのか伺います。

経済課

本組合に五十万円を補助し、
よい品種の苗木を育て、管理
されている民間の方に有償で分けて

議員

耕作放棄地の解消や移住促
進とも連携を取りながら、や
つていくならば事業拡大していくと
考えるがどうでしょうか。

経済課

特用林産物の関係では、有
益な作物であると考えており、
今後、農業委員会等との連携を取り
ながら進めて参りたいと思います。



議員

これを特産品目の安定的
供給ルートとして構築でき
るならば、高齢化農家に対しての

町長

今後の需要の動向を検証し
どの程度バックアップできるか検討

所得の向上にもつながると考えて
おり、ぜひブランド化と商品登録
を急ぐべきだと考えます。

ブロンズ人材センターでの
なんぐう馬鈴薯を使った
加工品開発は考えられないか

町長

ブロンズや商業者がやってみたい
実証実験であればやってみたい

議員

現在ある加工センター等
の利用はできないか伺いま
す。

町長

受け皿の組織があるなら
ば、十分可能な範囲だと思
います。

議員

少子高齢化が進み、生産
年齢と言われる働き手の世

代がこの町では生活設計が描かれ
るような経済環境を創出できてい
ない。このような環境を緩和して
いく戦略の一つとして、必要な施
策をタイムリーに実施していくこ
とが今後の課題だと考えます。

議員のひとり言

我が町の特産品のブランド化と商品登録は早急に取り組みたい。

口蹄疫について、現在の防疫対策と今後対策を強化する考えは？



町長 防疫対策として、消毒液や消石灰の配布を毎年実施している

4月に韓国にて豚での発生が確認されており、「国内での発生はなく、近隣諸国で発生している発生段階レベル1」で情報の提供、防疫の啓発と指導を実施しています。

本町独自策としては、継続して車両用消毒ポイントの管理と消毒資材活用・配布で侵入防止対策を行います。

議員

口蹄疫の感染経路は、感染した家畜やウイルスに汚染された糞便等の接触や人には感染しないが人を媒介したり、器具や車両・野鳥等によりウイルスの伝搬、さらに空気感染などです。宮崎での口蹄疫が発生した際も韓国で発生していました。海外からの侵入を防ぐ為、県は、空港や港湾での踏み込み消毒や検疫を行っています。本町のフェリー乗り場や各フェリー乗り場に踏み込み消毒液を置けないでしょうか？「西郷どん」で観光客が増



この他に、「口蹄疫が発生した際の対応について、県との連携はどのようにとられるのか」「防疫対策は、畜産農家に周知され実行できているのか」も質問しました。

えているのに水を差すと言われるかもしれませんが、わが町の農業、漁業と並ぶ基幹産業である畜産を守る為にも、「口蹄疫が来ない努力・入れない努力」を引き続き、県や肝属防疫協議会にも働きかけて頂きたい。

乗合タクシーの対象地域を拡大する考えは？

町長

地域住民の意向、路線バス区間との競合、他の交通手段との経費比較を考慮する必要がある。

議員

乗合タクシーの対象地域でない方、コミュニティバスの運行をしない地域の方々、幹線から離れている高齢者や足腰の悪い方々は交通手段を希望しています。運転免許を持つ高齢者も公共交通機関の不便と思うと、自主返納に踏切れないのでは？

提案します。

垂水―根占間、鹿屋―根占間は、従来の地域幹線バスと廃止路線バスで行い、根占―佐多間を白バスにするのはどうでしょうか？

そうすれば、路線バスがあるから枝線を行き来できなかった地域が運行出来るようになります。

また、温泉バスは乗せることは出来るがネッピ―館しか降りられないのが途中下車出来ず。白バスの何本かの運行は路線バス発着時間に接続する時刻に組んで頂きたいです。

企画課

効果的な考え方ですが関係市町村と合わせて運行している関係上難しいです。関係市町村の同意を

得なければ、南大隅町は負担が少なくなりほとんどの経費を錦江町・鹿屋市・垂水市が負担することになるので廃止路線代替えバスの存続に関わるものだと思います。



議員

これから、どの市町村も高齢化・過疎化によって交通手段がなくなり各市町村でも考えていくと思います。4市5町にて協議会で検討して頂きたいです。交通弱者も増えます。その影響は町の活性化・経済・健康問題・人口減少にも及びます。今は健康で車を運転出来て不自由に感じない人でも、将来、誰でも老います。交通弱者になる可能性もあります。自由なのを我慢したりあきらめたりしている人もいます。地域の実情や住民のニーズを把握した上で持続可能な地域公共交通網の形成を、検討調整を行われることを願います。

この他に「空白地域に対する具体的な取組み」を質問しましたが、聞きとりが必要ないと。再度、実証運行の検討を答弁しました。

議員のひとり言

高齢者や移動弱者に交通手段を確保したいな。

財政運営を問う



議員 安定的財政運営の為、平成35年度迄の財政計画を、立てておられるが地方債、基金、地方交付税の動向を踏まえた財政計画を伺います。

町長 地方債は借入見込額や後年度の元利償還額、地方交付税は段階的縮減措置、地方債の交付税措置額等を勘案し、歳入歳出の調整を基金により行います。

議員 本年度の地方債は全て、交付税措置のある地方債か伺います。

総務課長 30年度地方債は全て交付税措置のある地方債であります。

議員 合併特例債の本町建設事業債は41億7千万円であるが、本年度6月補正後の残額を伺います。

議員 21億7千2百20万円であります。

議員 地方債が増額している状況で地方交付税減少に伴い経常収支比率や公債費比率への影響をどのように捉えられているか伺います。

町長 ここ数年の地方債残高の増加、地方交付税減少の中で財政構造の弾力性を示す経常収支比率は上昇傾向にあり、実質公債費比率も今後増加と見込んでおります。各種財政指標を注視して、将来を見据えた財政運営に努めます。

議員 経常収支比率が28年度では87%と上昇しているが、35年度迄の計画でピーク時の数字を表わせますか伺います。

総務課長 経常収支比率は上昇していきませんが、それ以上に地方債と基金とのバランスに注視し

議員 元利償還金の影響で公債費が一番高いと予想される年度と金額を伺います。

総務課長 平成34年度に実質公債費比率17%で公債費約12億円の償還と想定しております。

議員 佐多岬は安全確保により当初からバス運行会社との運行委託で計画し雄川の滝は駐車場百台確保出来た事によりバス運行を計画していなかった関係から町のマイクロバス運行により無料送迎となりましたが、今後バス運行会社への依頼により有料化も検討してまいります。

議員 ゴールデンウィークによる経済効果はどのように算出されたか、また観光客増員により対応等の検討課題はなかったか。

町長 なんとたん市場や佐多岬観光案内所の例年以上の売り上げに加え、無人市場や飲食店等本町のみでなく広域でも経済効果があり、一人当りの平均消費推計額に照らすと3千3百92万円が本町において消費されたと推測されます。受入れ対応では渋滞解消の為シャトルバス運行や交通整理等、繁忙期における課題として、検証を行い対応してまいります。

議員 シャトルバスは佐多岬は有料で雄川の滝は無料とさ

観光事業について

議員 雄川の滝の水道事業工期とAED設置は考えているか伺います。

観光課長 水道事業は7月中に入札及び契約を終え来訪者に迷惑にならないよう工期を確保してまいります。AED設置はコンテナハウス内か管理されるシルバー人材センターの方に保管してもらう体制でリース契約を進めており早急に設置する計画です。

議員 佐多岬は安全確保により当初からバス運行会社との運行委託で計画し雄川の滝は駐車場百台確保出来た事によりバス運行を計画していなかった関係から町のマイクロバス運行により無料送迎となりましたが、今後バス運行会社への依頼により有料化も検討してまいります。

議員 ゴールデンウィークによる経済効果はどのように算出されたか、また観光客増員により対応等の検討課題はなかったか。

議員 シャトルバスは佐多岬は有料で雄川の滝は無料とさ

議員のひとり言

子育て支援策について 具体的な施策を伺う



町長 子育て支援特別手当として誕生祝い金、第1子5万円、第2子10万円、第3子50万円、第4子100万円、保育料第1、2子は基準額の半額、第3子以降は無料、その他支援も実施。18歳までの子供医療費の全額助成。給食費の月額一律1000円。その他検定料の補助。奨学金制度を拡充した「ネッピィー岬ちゃん」を本年度より創立となっております

議員 今、町で第4、5子は増えていますか。

福祉課 介福課長 平成25年度から増えており、第3、4、5子で60名程度出生しております。

議員 保育園に行くと、3年前です。第3子が非常に増えたという話はお聞きしている。

1人当たりの支援額は如何ほどと想定しているか伺う

町長 町単独の誕生祝い金や保育園保育料、給食費等鑑み、年収450万円の世帯で0歳から18歳までの間の支援額を試算しますと、子供1人世帯が128万円、2人世帯が292万円、3人世帯が555万円、4人世帯で868万円という支援額となります。医療費助成等も合わせますと、経済面だけでなく質的にも子育て世代への支援が図られていると思っております。

日本一の子育て支援に向けて、現状に対する町長の評価を伺う

町長 安心して子育てできる環境づくりができており、町民の子育て支援に対する満足度は高いと評価しております。また、平成31年度からは母子保健や育児に関する相談・支援を行う「子育て世代包括支援センター」を設置し、子育て支援の環境整備に努めます。

議員 まだまだ形を変えた支援策もあると考える中で、修学旅行の支援は出来ないか伺います。

教育長 要保護・準要保護の方には出して頂いている。県内、肝属地区の2市4町では出していないです。当分の間は、修学旅行に対して補助は考えていないところです。

議員 実際、子育て日本一を自負されているわけですから、ぜひ検討してください。

観光客からお土産品が少ないと聞くが、佐多岬やなんたん市場等の売上げ状況をどう捉えているか伺う

町長 佐多岬への来訪者の増加に伴い、案内所の売上げも伸びており、今年の5月の販売額は過去最高となっております。「なんたん市場」につきましては、現在230の出荷者が1,800を超える商品を出品しており、中でもお菓子や果物、加工品が売れ筋のようです。昨年から販売額は、やや増加していると報告を受けております。今後も消費者ニーズを的確に捉えながら、地域の資源を活用した地元ならではの土産品の開発に取り組んでまいります。

議員 なんたん市場を伸ばすためには、もうちょっと厚い方法はないものだろうか。又、売場面積を広げてもらいたいと要望もありましたのでお伝えしておきます。



議員のひとり言 なんとたん市場を、役場近辺の国道沿いへ移設を願う？

総務民生常任委員会

〔交通安全施設等所管事務調査〕

平成30年7月23日、町内において防護柵、反射鏡等の交通安全施設等について調査しました。

発電所線の反射鏡の新設、県道、廿枝地区の防護柵の新設、昨年度実施した交通安全施設についても現場確認しました。

今後、既設反射鏡の計画的な修繕、併せて、国道、県道の支障木、防護柵、反射鏡の不備について交通の安全面について対応できない施設も確認しました。この調査結果は関係課に早急な対応をし、適切に処置するよう要請しました。



道路危険箇所調査中

教育産業常任委員会

〔学校等調査所管事務調査〕

7月9日、町内の幼稚園・小中学校に授業参観を兼ねて施設等を視察し、給食センターでは検食を行い、それぞれ現況・要望等の説明を聞き意見交換を行いました。

・照明・空調などの教育環境の整備について、優先度を考慮した年次計画を立て、取組みを加速されるよう希望。（扇風機等、機能的不具合や騒音等を調査され改善）

・IT、ICT環境の整備を図る上からも、電子黒板（全教室配置の要望）、デジタル教科書・タブレット等の導入について、教育委員会において早急に方針の決定を。

以上、各学校等及び委員からの要望・提案をまとめて担当課へ報告しました。

最後に、年々教室の暑さが増し、児童の健康を守る為にも、また授業に集中出来る環境を整える為にもクーラーの設置は早急に必要だと考えます。



第一佐多中にて



ねじめ幼稚園にて

佐多岬 VS 雄川の滝

ゴールデンウィークの観光客を徹底比較
 今年のゴールデンウィークは、佐多岬では昨年の2倍、雄川の滝では3倍近くの観光客で賑わいました。

佐多岬

(4/28～5/6)

- 入込客数 …………… 10,624人
- 車台数 …………… 4,192台
- バイク台数 …………… 1,310台



- 5/3 …… 1,608人 (車: 740台)
- 5/4 …… 2,525人 (車: 909台)
- 5/5 …… 2,170人 (車: 890台)

※平成29年GWは5,725人

雄川の滝

(4/28～5/6)

- 入込客数 …………… 14,205人
- 車台数 …………… 4,764台
- バイク台数 …………… 285台



- 5/3 …… 2,245人 (車: 702台)
- 5/4 …… 2,865人 (車: 865台)
- 5/5 …… 2,825人 (車: 741台)

※平成29年GWは5,728人

編集後記

毎日暑い日が続いています。皆さまいかがお過ごしでしょうか。先日発生した西日本豪雨災害では多くの方が犠牲になられました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

「今までは、避難指示が出ても自分は大丈夫と思っていた。考えが甘かった。」と話される被災者の言葉が耳に残っています。何処でも誰にでも起こりうる災害。私たちも充分気を付けたいものです。

さて、議会だよりは議会傍聴に来られない方々に議会をより知っていただくための情報誌です。町民の皆様は「読みやすい。分かりやすい。」と実感していただけ、モニターの皆さまの協力をいただきながら紙面作りを行っています。分かりやすく開かれた議会だよりになるよう努めて参りますので、「あの質問はどうなった？」等ご意見ご要望どしどし事務局へお寄せください。お待ちしております。

暑さはこれから本番。こまめに水分補給し体調管理に努めましょう。

大坪 満寿子

表紙の風景

ゴールドビーチ大浜 海開き



【お知らせ】

9月会議は、本庁議事堂で開催されます。

「みんなの議会」では見る事ができない議会が、ご覧になれます。詳しい日程等は議会事務局までお問い合わせください。

〔発行責任者〕

議長 大村 明雄

〔広報広聴常任委員会〕

委員長 水谷 俊一

副委員長 木佐貫徳和

委員 津崎 淳子

委員 後藤 道子

委員 日高 孝壽

委員 大坪 満寿子